

創立者出身地への学生派遣プログラム(天童市)

日程 2012年9月3日(月)～9月6日(木)

テーマ 創立者出身地・てんどう活性化プロジェクト～天童ブランドの創造

趣旨

明治大学地域連携推進センターでは、本学創立者出身地(鳥取県、山形県天童市、福井県鯖江市)と連携協力に関する協定を締結し、多様な連携事業を推進しています。天童市と明治大学は、創立者の一人である宮城浩蔵先生が天童市出身であることから、2010年に協定を締結いたしました。

このたびは創立者出身地各地域について、学生と地域の人々の交流・連携を通じた「地域活性化への提言」を行う学生派遣プログラムを実施しました。天童市においては、市から5つのテーマ・課題が提示されました。このことに対する解決策・対応策を提案すべく、学生が主体となって事前調査・研究、グループワークを行い、天童市における調査・取材、グループワークなどを経た後、地域住民・行政・関係団体などと「熟議*」形式で課題や問題点を絞り込み、その成果を「具現化案」にまとめ鯖江市に報告しました。

*「熟議」形式とは、地域、職業、立場、年齢、性別を越えたさまざまな人々が、対等な立場で、共通のテーマについて「課題や問題点」を整理し、議論を重ね、「課題や問題点の解決方法や対策」について意見交換しながら「解決策・対応策の提言」をまとめる協働作業を行う場のこと。

グループテーマ・参加者 学部学生20名(男子12名、女子8名)

①グループ「将棋駒」 チーム名「将棋維新の会」

リーダー 山田 康平(商学部2年)、酒井 結衣(法学部3年)、江口 哲也(経営学部2年)

②グループ「天童温泉」 チーム名「ドンと来い! 天童温泉」

リーダー 戸川 翔太(情報コミュニケーション学部2年)、中村 未里(政治経済学部1年)、佐々木 健人(情報コミュニケーション学部2年)、金子 あかり(経営学部2年)

③グループ「フルーツ」 チーム名「フルーツ薦隊」

リーダー 高橋 幸花(経営学部2年)、太田 直規(商学部3年)、竜澤 はるか(農学部1年)、松田 安友子(国際日本学部1年)、川村 慶太(経営学部2年)

④グループ「歴史」 チーム名「You're beautiful」

リーダー 河邊 崇弘(政治経済学部3年)、高久 承実(法学部3年)、林 竜也(政治経済学部2年)、久野 晃弘(経営学部2年)

⑤グループ「ホームタウンスポーツ」 チーム名「一紫入魂」

リーダー 河野 宏基(政治経済学部4年)、兼重 真武(経営学部4年)、藤田 惇志(商学部3年)、須藤 友佳(経営学部2年)

大学における派遣学生への事前説明会及びグループワーク(8月1日)

プログラムの趣旨、意義を確認。天童市担当者および山形県東京事務所担当者からレクチャーを受けたのち、第1回目のグループワークを実施しました。また、現地研修前に山形県東京事務所、アンテナショップ訪問など取材・調査、資料収集、グループワークを随時行いました。

天童市におけるプログラム開始（9月3日）

到着後、市内視察を行なったのち、オリエンテーションを実施しました。山本信治市長からは、歓迎のあいさつと明大生に対する熱い期待が述べられました。オリエンテーション終了後に現地での初めての熟議を行いました。



担当課・熟議参加者との交流会（9月3日）

天童市担当部課職員、熟議参加者の出席をいただき実質的な熟議の場となる熱のこもった交流会となりました。参加学生からは、プログラムにける熱い意気込みも披露されました。



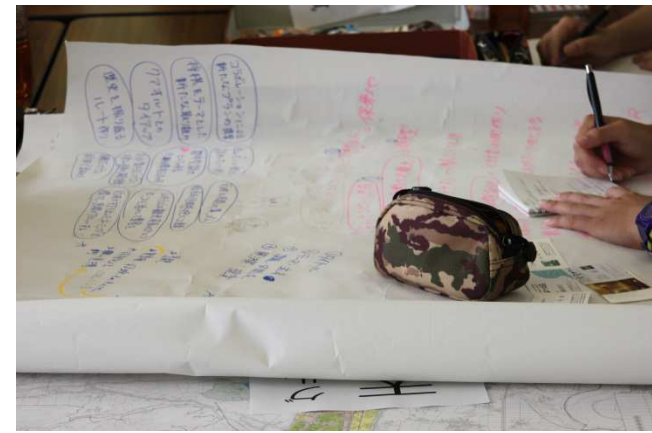
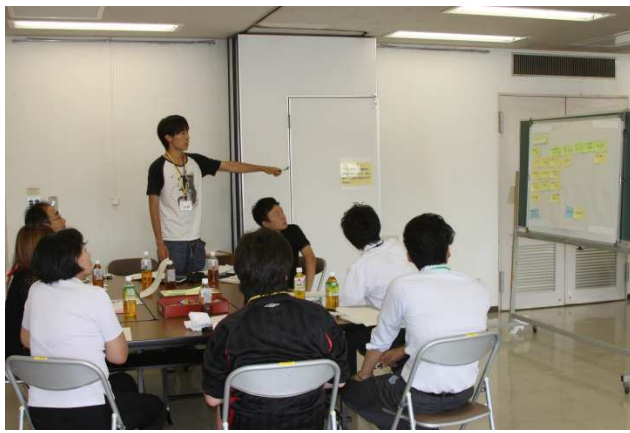
現地での取材及びグループワーク（9月4日・5日）

学生は徒歩、自転車をはじめ市担当者の車両を利用し、ヒアリング、調査等を精力的に行い、宿舎に戻ってからは、会議室を貸切り、その後宿舎ロビー、自室にて連日深夜、明け方までグループワークに取り組みました。



2回目の熟議 (9月5日)

2回目の熟議にも多くの方々にお集まりいただき、現地調査を踏まえて、熱心な意見交換、議論がなされ充実した会となりました。



中間報告会 (9月6日)

天童市職員はじめ、熟議参加者の出席のもと各グループ10分で発表を行い、テーマごとに講評をいただくとともに、出席者からの質疑応答もあり、最終成果報告書作成にむけたたくさんの助言とねぎらいのお言葉をいただきました。



山本信治天童市長はじめ天童市職員のみなさん、また熟議に参加いただいたみなさん、学生の取材にご協力くださったみなさん、熱いご支援ご協力いただき、誠にありがとうございました。